

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

## 日本語教育映画：基礎編 れんしゅうちょう ユニット4(第16巻～第20巻)

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-02-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 国立国語研究所, The National Language Research Institute メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15084/00003120">https://doi.org/10.15084/00003120</a>

16mmフィルム  
ビデオテープ

日本語教育映画 基礎編

れんしゅうちょう

ユニット4 (第16巻~第20巻)

国立国語研究所

## 前 書 き

この「日本語教育映画 基礎編 練習帳」は、「日本語教育映画 基礎編」を使用する学習者のための補助教材として作成しました。

「日本語教育映画 基礎編」は、日本語を母語としない学習者が日本語を学ぶための初級用映像教材で、1巻5分から8分の作品30巻で構成されています。各巻、独立した学習内容と主題を持っているので、日本語の授業で教科書と併用する副教材として個別的に利用することができますが、また基礎的日本語能力を実践的に身につけるための教材として、系列的に順次利用することも可能です。

この練習帳は、映画各巻の学習内容とストーリーに即して練習を展開させ、ユニット（映画5巻分）単位でまとめました。  
日本語教育映画とあわせて御利用ください。

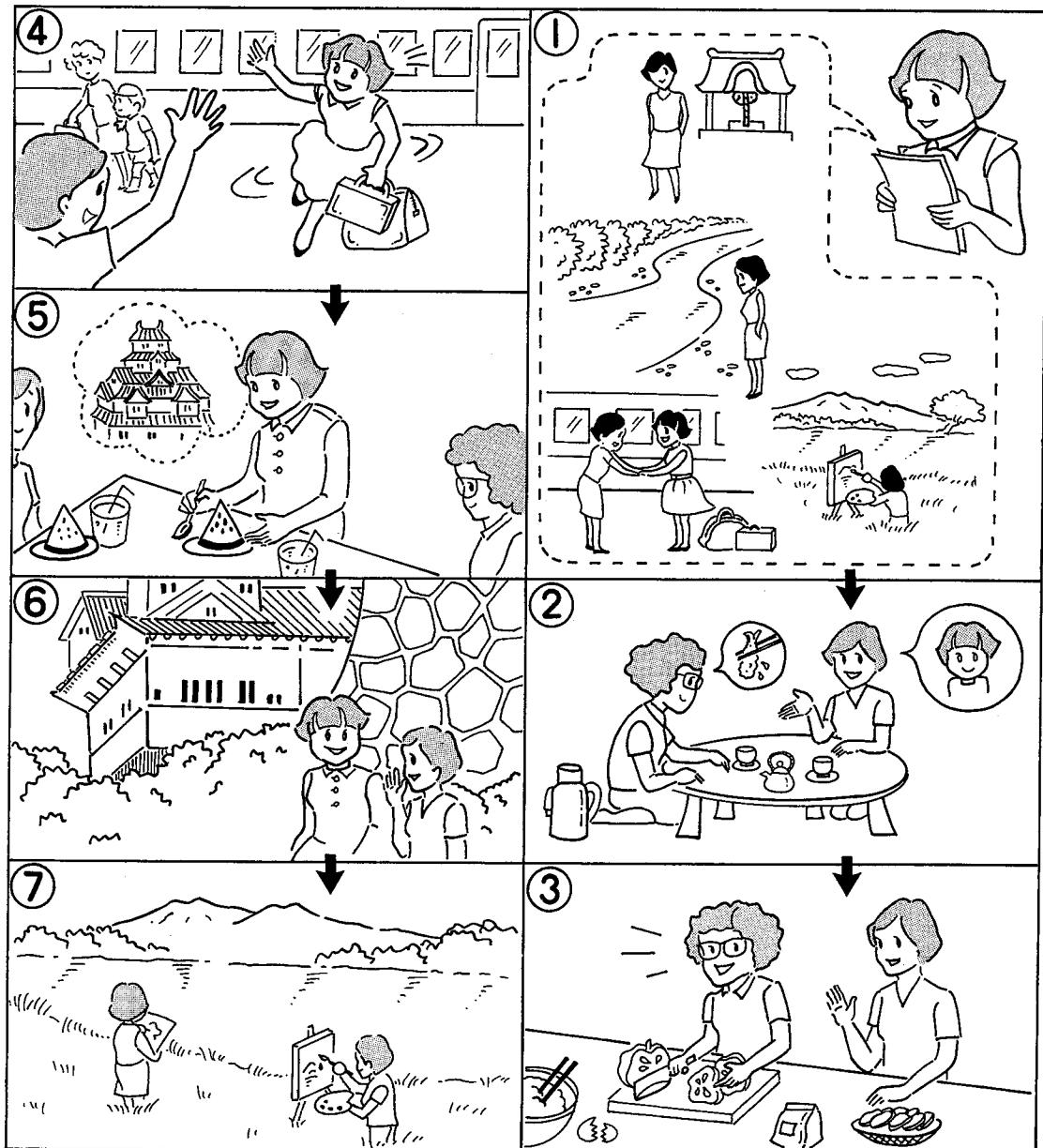
### 『日本語教育映画 基礎編』 練習帳

#### ユニット(4) 目次

第16巻	みずうみのえを かいたことが ありますか……	1
第17巻	あのいわまで およげますか……………	9
第18巻	よみせを みに いきたいです……………	17
第19巻	てんきが いいから さんぽを しましょう……………	25
第20巻	さくらが きれいだそうです……………	33

16

みずうみのえを  
かいたことがありますか



まえの ページを みて こたえましょう。

<p>④ <small>はち がつ ここのか</small>八月九日です。</p> <p>えきまで むかえに 行く <input type="text"/> に なっていました。</p> <p>いま むかえに 来ま <input type="text"/>.</p>	<p>① これは <small>まきこ</small>正子さんの <small>てがみ</small>手紙です。</p> <p>まいあさ じんじゃの あたり <input type="text"/> さんぽします。</p> <p>とおくの <small>かわ</small>川まで 行く <input type="text"/> も あります。</p> <p><small>こぜんかう</small>午前中は 絵を かく <input type="text"/> に しました。</p> <p><small>はち がつ ここのか</small>八月九日には、えきまで むかえ に 行く <input type="text"/> に します。</p>
<p>⑤ すいかを たべました。</p> <p>こんな おいしい すいかは、 たべ <input type="text"/> ことが ありません。</p>	<p>② 何を つくる <input type="text"/> に しまし ょうか。</p>
<p>⑥ <small>よねんまえ</small>四年前、おしろへ来 <input type="text"/> <input type="text"/> が あります。</p> <p>おしろまで、さんぽ <input type="text"/> ことに しましょう。</p> <p>ふたりは、おしろまで さんぽ <input type="text"/> <input type="text"/> に しました。</p>	<p>③ てんぷらを つくる <input type="text"/> に しました。</p> <p>いま つくる います。</p>
<p>⑦ <small>じゅん</small>子さんは、みずうみの え を か <input type="text"/> ことが ありません。</p> <p>みずうみの えを かく こと <input type="text"/> <input type="text"/> た。</p> <p>ふたりは、さんぽしたり、えを かい <input type="text"/> しました。たのしい 夏休みでした。</p>	

① 「～した ことが ある」

れい：みずうみの 絵を かきます → みずうみの 絵を かきました。

→ みずうみの 絵を かいた ことが あります。

1. バスに のる →
2. おしろへ 行く →
3. じんじゃを 見る →
4. おんがくを きく →
5. すいかを たべる →
6. てつだう →
7. この まちへ 来る →
8. スケッチを する →

② 「～する ことが ある」

れい：バスが おくれました。

→ ときどき、バスが おくれる ことが あります。

1. 川へ 行きました。→
2. 手紙を かきました。→
3. ごちそうを つくりました。→
4. スケッチを しました。→
5. はやく おきました。→
6. 赤く 見えました。→
7. まんがを よむ。→
8. おそらく 学校へ 来る。→

### ③ 「～する ことに する」

れい：絵を かきます → 絵を かく ことに します

→ 絵を かくことに しました → 絵を かく ことに なりました。

1. べんきょうを します。→
2. 手紙を よみます。→
3. てんぷらを たべます。→
4. えいがに 行きます。→
5. けんぶつに 来ます。→
6. 日本語で はなす。→
7. てつだいます。→

### ④ 「～したり、～したり する」

れい：手紙を かきます  
本を よみます } → 手紙を かいたり、本を よんだり します。

1. ラジオを ききます  
絵を かきます } →
2. おちゃを のむ  
ごはんを たべる } →
3. とりが とぶ  
せみが なく } →
4. 山に のぼる  
川で およぐ } →
5. 赤く みえる  
青く みえる } →

⑤ みじかい へんじ

A 「こんにちは」 —— B 「こんにちは」

A

B

1. いって きます。 \_\_\_\_\_。
2. ただいま。 \_\_\_\_\_。
3. どうぞ、お楽に。 \_\_\_\_\_。

⑥

**れい**：まいにち 絵を かきます。 → 絵を かいた ことが あります。

1. 四年前に、おしろを けんぶつに 来\_\_\_\_\_。 →
2. まいあさ ラジオを き\_\_\_\_\_。 →
3. まいにち じんじやの あたりを さんぼ\_\_\_\_\_。 →
4. 去年の 夏、じゅん子さんの うちに 行\_\_\_\_\_。 →
5. 二年前に お寺の 絵を 見\_\_\_\_\_。 →
6. 去年、みずうみの 絵を か\_\_\_\_\_。 →
7. まいばん すいかを た\_\_\_\_\_。 →

⑦

**れい**：いつも ズボンを はきます。

→ ときどき、スカートを はく ことが あります。

1. まいあさ パンを たべます。ときどき ごはんを \_\_\_\_\_。
2. まいにち 絵を かきます。ときどき 音楽を \_\_\_\_\_。
3. いつも たたみに すわります。ときどき いすに \_\_\_\_\_。
4. いつも 「いってらっしゃい」と 言います。  
ときどき 「気をつけて」と \_\_\_\_\_。
5. いつも 8時に 来ます。ときどき \_\_\_\_\_。
6. まいにち あついです。ときどき 夕方 すずしく \_\_\_\_\_。
7. いつも しづかです。ときどき 鳥の こえが \_\_\_\_\_。

⑧ 下は、1ページの 絵の 説明です。ただし、ものに ○を つける ことに しましょう。

- A イ) じゅん子さんは、まき子さんの うちへ 行った ことが あります。  
ロ) じゅん子さんは、まき子さんの うちへ 行く こと ことに なって います。
- B イ) きょう、じゅん子さんが 来ました。  
ロ) きょう、じゅん子さんが 来る ことに なって います。
- C イ) おかあさんは、てんぷらを つくった ことが ありません。  
ロ) おかあさんは、てんぷらを つくる ことに しました。
- D イ) ふたりは、えきで 会う ことが あります。いまも 会って います。  
ロ) ふたりは、えきで 会う ことに なって いました。いま、会いました。
- E イ) じゅん子さんは、四年前に、おしろへ 来る ことに なります。  
ロ) じゅん子さんは、四年前に、おしろへ 来た ことが あります。
- F イ) じゅん子さんは、ときどき、おしろまで さんぽする ことが あります。  
ロ) まき子さんは、ときどき、おしろまで さんぽする ことが あります。  
ハ) ふたりは、さんぽしたり、はなしを したり して います。
- G イ) ふたりは、絵を かいたり、スケッチを したり します。  
ロ) まき子さんは、みずうみの 絵を かいた ことが ありません。  
ハ) みずうみは、夕方、赤く みえる ことが あります。

## ⑨ バスの 時刻表です。

- いちばん 早い バスは、何時に 来る ことに なっていますか。
- いま 7時 30分 です。つぎの バスに のります。何分 まつことに なりますか。
- 午前中に、バスは 何回 来る ことに なって いますか。
- 午後、いちばん 早い バスは、何時に 来ることに なって いますか。

東京	××	
6.30		
7.20		
8.00		
8.30		
9.10		
10.00		
11.00		
12.20		

⑩ **れい** : 何の絵、かく みずうみ

何の 絵を かきましょうか。→ みずうみの 絵を かく ことに します。

- 何、たべる → てんぷら →
- どこ、行く → おしろ →
- 何時の バス、のる → 8時 →
- どこまで、さんぽする → 川まで →

## ⑪ 1ページの 絵を 見て「～したり、～したり する」の 文を つくり ましょう。

1.

2.

## ⑫ 1ページの 絵を 見て、ひとの ことばをかきましょう。

1.

2.

3.

4.

⑬ こたえて ください。

1. まさ子さんは じゅん子さんの いもうとですか、ともだちですか。
2. まさ子さんは、毎日 <sup>まいにち</sup> どんな ことを しますか。
3. じゅん子さんは、<sup>なんがつ</sup> 何月 <sup>なんにち</sup> 何日に 来る ことに なって いましたか。
4. まさ子さんの おかあさんは、何の ごちそうを つくる ことに しましたか。
5. じゅん子さんは、えきで まさ子さんに 何と 言いましたか。
6. じゅん子さんは、まえに おしろに 来た ことが ありますか。
7. じゅん子さんは みずうみの 絵を かいた ことが ありますか。
8. ふたりは、あしたから 何を する ことに しましたか。
9. ふたりは、みずうみへ 何に のって いきましたか。

メ  
モ

17

あのいわまで  
およげますか

さあ およいで みて ください。

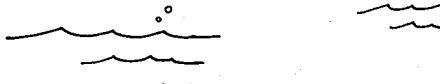
いきが し□んですね。

がらだを こう たてて おおぐと  
いいですよ。

かおが あがって いきが し□です。



さかなが つれています。



あきらくんは およ〇ますか。

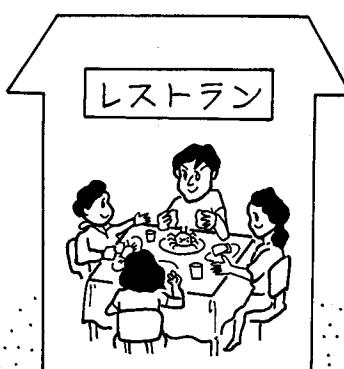
あと二の いわ ぐらいまでは  
およ〇ます。

むこうの いわまで い〇ますか。

うん。

あきらくんは なかなが じょうず  
およぐ□が ぞきますね。

ええ。まりこさんも じょうずですね。



いただきます。わたし こんちに たべ□ないわ。

せいじょうぶ、ばくが たべますよ。

これ、たべにくいですね。

それはね、ニラするヒ カんたんに と〇ますよ。

① 「～ことが できる」「およげる／たべられる／できる」

あきらくんは およぎます。

およぐ ことが できます。

およげます。

あきらくんは かに○ たくさん たべます。

かに○ たくさん たべる ことが できます。

かに○ たくさん たべられます。

むこうで つり○ します。

つり○ する ことが できます。

つり○ できます。

② 「～ようになる」

なつ子さんは あまり およげませんでした。れんしゅうしました。

→なつ子さんは およげるようになります。

③ 「～やすい／～にくい」

いきを する → いきが しやすい ↔ いきが しにくい

④ 「～すぎる」

たべる → たべすぎる のむ → [ ]

とおい → とおすぎる たかい → [ ]

しづか → しづかすぎる ひま → [ ]

⑤ 「～て みる」

行く → 行って みる → 行って みましょう → 行って みて ください。

⑥ 「～ながら～」

手を かく + 足を あわせる → 手を かきながら 足を あわせる。

## ⑦ 「およげる／たべられる／できる」

**れい**：すこし およぐ→ すこし およげる

たくさん たべる→ たくさん たべられる

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. じょうずに うたう→  | 6. よるまで いる→     |
| 2. ひとりで 行く→    | 7. よく ねる→       |
| 3. 30分 ぐらい まつ→ | 8. うまく おしえる→    |
| 4. ここで あそぶ→    | 9. あしたも 来る→     |
| 5. すぐに もどる→    | 10. 毎日 れんしゅうする→ |

## ⑧ 「～ ことが できる」「およげる／たべられる／できる」

**れい**：ピアノを ひきます→ ピアノを ひく ことが できます→ ピアノが ひけます。

1. さしみを たべます→
2. 日本語を はなします→
3. かんじを おぼえます→
4. つりを します→

## ⑨ 「～ ように なる」

**れい**：ひらがなを かく→ ひらがなが かける→ ひらがなが かける よう になりました。

1. 100メートル およぐ→
2. 日本語の しんぶんを よむ→
3. 日本語で でんわを かける→
4. はやく おきる→
5. 学校へ 早く 来る→

### ⑩ 「～やすい／～にくい」

れい：かにを たべる (にくい) → かには たべにくいです。

1. はしを つかう (にくい) →
2. この くつを はく (やすい) →
3. むずかしい かんじを おぼえる (にくい) →
4. この くすりを のむ (にくい) →
5. <sup>おお</sup>大きい ジを よむ (やすい) →

### ⑪ 「～すぎる」

れい：さとうさんは ごはんを たくさん たべます。→ さとうさんは ごはんを たべすぎます。

この カメラは たいへん <sup>たか</sup>高いです。→ この カメラは <sup>たか</sup>高すぎます。

1. この へやは たいへん あついです。→
2. <sup>たなか</sup>田中さんは たくさん おさけを のみます。→
3. すずきさんは よく はたらきます。→
4. この くつは たいへん <sup>おお</sup>大きいです。→
5. その ことばは たいへん ていねいです。→

### ⑫ 「～て みる」

れい：これで かく→ これで かいて みる→ これで かいて みましょう。

→ これで かいて みて ください。

1. すこし のむ →
2. ケーキを つくる →
3. きものを きる →
4. あしたも <sup>き</sup>来る →
5. れんしゅうする →

## 13 「～ながら」

れい: 手を かく、足を あわせる → 手を かきながら 足を あわせます。

1. あるく、はなす →
2. たいこを うつ、うたう →
3. コーヒーを のむ、しんぶんを よむ →
4. ねる、<sup>ほん</sup>本を よむ →
5. しごとを する、はなす →

## 14 「～と いい」

れい: <sup>おお</sup>大きい、手を かく → <sup>おお</sup>大きく 手を かくと いいですよ。

1. はやい、うちを <sup>で</sup>出る →
2. かんたん、はなす →
3. ゆっくり、たべる →
4. よい、れんしゅうする →
5. ていねい、かく →

## 15 「～じゃ ないですか」

れい: よげないと きいて いましたが、よげるじゃ ないですか。

1. つくれないと きいて いましたが、\_\_\_\_\_。
2. かけないと きいて いましたが、\_\_\_\_\_。
3. できないと きいて いましたが、\_\_\_\_\_。
4. うまくないと きいて いましたが、\_\_\_\_\_。
5. じょうずじゃ ないと きいて いましたが、\_\_\_\_\_。

16

**れい**：アラビア語を はなすことが できますか。

→いいえ、アラビア語は はなせません。

1. 日本語で でんわをかける ことが できますか。→はい、
2. 左手で かくことが できますか。→いいえ、
3. 日本語の しんぶんを よむ ことが できますか。→いいえ、
4. あなたの 国で 日本りょうりを たべる ことが できますか。→はい、
5. いろいろな 国の りょうりを つくる ことが できますか。→いいえ、

17

**れい**：さとうさんは およぐ ことが できませんでした。でも、毎日 れんしゅうしました。それから およげる ように なりました。

1. よう子さんは ピアノを ひく ことが できませんでした。でも、
2. リーさんは ラジオの 日本語の ニュースが わかりませんでした。でも、
3. サリーさんは 日本の うたを うたう ことが できませんでした。でも、
4. アリさんは はしで たべる ことが できませんでした。でも、
5. キムさんは 日本の おどりを おどる ことが できませんでした。でも、

18

**れい**：おんがくを きく、べんきょうする

→おんがくを ききながら、べんきょうする ことが できますか。

1. ギターを ひく、うたう→
2. 本を よむ、うんてんする→
3. テレビを 見る、てがみを かく→
4. はなす、はを みがく→
5. およぐ、たべる→

19 かいわの れんしゅう

1. A: りーさんは ひらがなが かけますか。

B: いいえ、ほとんど かけません。

A: じゃあ、日本人の ともだちに ならうと いいですよ。

B: ええ。

1. かんじ、かける

2. 日本語、はなせる

3. 日本りょうり、つくれる

4. 日本のおどり、おどれる

2. A: なあんだ、へやに いたんですか。

B: ええ、おんがくを ききながら、おちゃを のんでいたんです。

1. コーヒーを のむ、テレビを 見る

2. ねる、本を よむ

3. てがみを かく、ともだちを まつ

4. テープを きく、べんきょうする

3. A: おいしいですか。

B: ええ、おいしいですよ。あなたも たべて みて ください。

1. おもしろい、よむ

2. いいところ、行く

3. かんたん、つくる

4. やさしい、やる

20 テープを きいて、□の 中に なか かきなさい。

1. かずお：およげる□ □ですか。

なつ子：でも、すこしです。

かずお：□ しにくいんですね。

からだを□ □ およぐといいですよ。

かおが□、□ しやすいです。

2. なつ子：どこへ□ですか。

□ しんぱいしたわ。

まり子：ごめんなさい。

あの□まで□。

あきら：つりを□ ひと 人が□。

21 ビデオテープの はなしを かんがえて、□の 中に なか てきとうな こと ばを かきなさい。

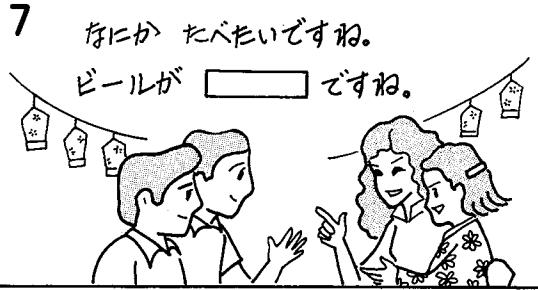
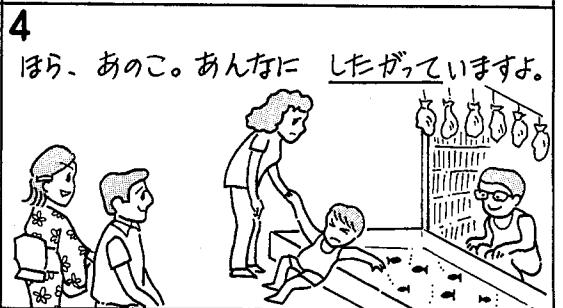
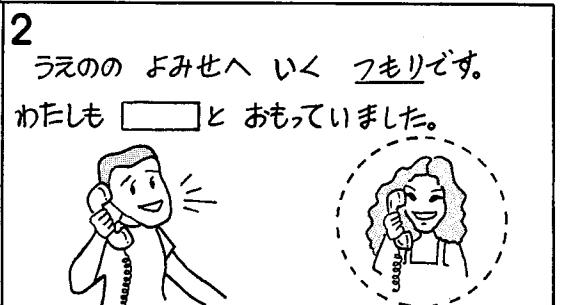
1. なつ子さんは はじめは□ およげませんでした。

2. なつ子さんは まり子さんの おにいさんに□ を□。

3. なつ子さんは、2~30メートル およげる□。

18

よみせを みに  
いきたいです



① わたしは ビールを のみます。

→ わたしは ビールが (を) のみみたいです。

② きょうこ「わたしは しゃしんが (を) とりたいです。」

→ きょうこさんは しゃしんを とり○○と 言って います。

→ きょうこさんは しゃしんを とりたがつって います。

③ いもうと「わたしは にんぎょうが ほしいです。」

→ いもうとは にんぎょうが ○○○○ 言っています。

→ いもうとは にんぎょう○ ほしがつて います。

④ たなかさんと 行きます。

→ たなかさんと 行く つもりです。

→ たなかさんと 行こう○ 想って います。

⑤ 1. ごはんを 食べます。

→ ごはんを 食べる ところです。

2. フィルムを かえて います。

→ フィルムを かえて いる ところです。

3. やきそばを 食べました。

→ やきそばを 食べ○ ところです。

→ やきそばを 食べ○ ばかりです。

4. もうすこしで きんぎょが すくえます。しかし、すくえませんでした。

→ もうすこしで きんぎょが すくえる ところでした。

⑥ こむぎこで パンを つくります。

→ パンは こむぎこ○ できて います。

ぎゅうにゅうから バターを つくります。

→ バターは ぎゅうにゅう○○ できています。

⑦ 「～たい」

れい：ビールを のみます。→ ビールが のみたいです。

1. にんぎょうを 買います。→
2. すしを 食べます。→
3. えいがを 見ます。→
4. うまい のります。→
5. 友だちと 話します。→

⑧ 「～たがる」

れい：買いたいです。→ 買いたいと 言って います。→ 買いたがって います。

1. 見たいです。→
2. 食べたいです。→
3. とりたいです。→
4. のりたいです。→
5. 話したいです。→

⑨ 「ほしい」／「ほしがる」

れい：ゆかたが ほしいです。→ いもうとは ゆかたが ほしいと 言ってい ます。→ いもうとは ゆかたを ほしがって います。

1. にんぎょうが ほしいです。→
2. お金が ほしいです。→
3. ひまが ほしいです。→
4. いえが ほしいです。→
5. いい しごとが ほしいです。→

## ⑩ 「する つもりだ」

れい：たなかさんと 行きます。→ たなかさんと 行く つもりです。  
→ たなかさんと 行こうと 思って います。

- しゃしんを たくさん とります。→
- りょこうを します。→
- もっと きんぎょを すくいます。→
- えいがを 見ます。→
- あしたは 早く 来ます。→

## ⑪

### 1. 「した ところだ」／「した ばかりだ」

れい：やきそばを 食べました。→ やきそばを 食べた ところです。  
→ やきそばを 食べた ばかりです。

- わたしも いま、来ました。→
- むすこは 学校に 行きました。→
- しゃしんを とりおわりました。→
- ビールを のみました。
- しゅくだいを しました。→

### 2. 「するところだ」

れい：ごはんを 食べます。→ ごはんを 食べる ところです。

- 本を よみます。→
- 車に のります。→
- 学校に 行きます。
- テニスを します。→
- ねます。→

## 3. 「する ところだった」

れい：もうすこしで きんぎょが すぐえます。→ もうすこしで  
きんぎょが すぐえる ところでした。

1. 手紙を かきおわります。→
2. 8時の バスに のれます。→
3. ねむれます。→
4. タイプが うてます。→

## 4. 「して いるところだ」

れい：フィルムを かえて います。→ フィルムを かえて いる ところです。

1. しょくじを して います。→
2. おんがくを きいて います。→
3. 友だちが 来て います。→
4. コーヒーを のんで います。→
5. りょうりを 作って います。→

⑫

## 1. 「～で できている」

れい：こむぎこで パンを つくります。→ パンは こむぎこで できています。

1. かわで くつを つくります。→
2. 木で はしを つくります。→
3. 竹で この おもちゃを つくります。→
4. 紙で この にんぎょうを つくります。→

## 2. 「～で つくる」／「～から つくる」

れい：毛糸(で) セーターを つくります。だいず(から) しょうゆを つくります。

1. 木 紙を つくります。
2. ぎゅうにゅう バターを つくります。
3. にほんしゅを つくります。

### ⑬ かいわの れんしゅう

#### A 「～たい」

A：あのー、すみませんが……。

B：はい、なんでしょうか。

A：きってを 買いたいんですが、ゆうびんきょくは どこでしょうか。

B：あー、ゆうびんきょくは、その かどを まがって さんげんめです。

A：どうもありがとう。

1. 電話をかける、こうしゅう電話、右がわ

2. コーヒーを のむ、きっさてん、二つめの ビル

3. 本を 借りる、としょかん、よんけんめ

4. 手紙を 出す、ポスト、たばこやの 前

#### B 「～たい」「～たがる」

てんいん：いらっしゃいませ。

いしい：この かいこくの かたが せんすを 買いたがって いるんですが。

トム：はい。わたしは せんすが 買いたいんです。

てんいん：かしこまりました。しょうしょう お待ちください。

1. 日本にんぎょうを 買う

4. にほんしゅを のむ

2. カメラを 見る

5. うきよえを 見る

3. やきとりを 食べる

メ

モ

C 「ほしい」／「ほしがる」

いしい：ちょっと そこの みせに よって いきたいんですが……。

たなか：おみやげですか。

いしい：ええ、かずこが **ゲーム** を ほしがって いる ものですから。

——みせさきで **ゲーム** を みて——

たなか：うーん、これは、おとなでも ほしく なりますね。

1. プラモデル 4. にんぎょう

2. どうぶつの しゃしんしゅう 5. きんぎょ

3. <sup>はな</sup>花の しゃしんしゅう

D 「する ところだ」

いしい：こんにちは。

たなか：あ、いしいさん。どうぞ。いま、ちょうど お茶を のむ ところです。いっしょに いかがですか。

いしい：どうもありがとう。

1. おかしを 食べる 4. トランプを する

2. ビデオを 見る

3. 新しい レコードを 聞く

E 「する ところだった」

いしい：しけんに ごうかくしましたか。

たなか：もうすこしで ごうかくする ところだったんですが、だめでした。

いしい：そうですか、ざんねんでしたね。

1. 8時の しんかんせんに のれる 4. もんだいの 答えが わかる

2. しけんで 100点が とれる 5. テニスの しあいに かつ

3. <sup>やまだ</sup>山田さんに 会える

F 「する つもりだ」

いしい：こんどの 休み、どこかへ 行きますか。

たなか：ええ、スキーに 行く つもりです。いしいさんは？

いしい：わたしは、うちで 休もうと 慣っています。

たなか：そうですか。

1. ゴルフを する、レコードを 聞く

2. ちばの 海で 泳ぐ、にわしごとを する

3. 友だちを たずねる、しょうせつを よむ

4. えいがを 見る、手紙を かく

14 ビデオテープを 見て しつもんに 答えてください。

1. ふたりの 男の 学生は どこへ 行こうと 慣って いますか。

2. きょうこさんは うえのの よみせへ 行って、なにを したいと 言つて いましたか。

3. かおりさんの ゆかたを 見て、きょうこさんは なんと 言いましたか。

4. よみせで 四人は どんなことを しましたか。

15 ビデオテープを 見ながら ことばを かきこんでください。 (場面II)

いしい：きょうこさん、こんや、うえのの ( ) へ たなかさんと ( ) なんですが。

きょうこ：まあ、わたしも ( ) と 慣っていました。

いしい：じゃあ、いっしょに ( )。

きょうこ：ぜひ、いっしょに ( )。

いしい：だれか ほかに、( ) 人 いませんか。

きょうこ：そうですね。そうだ かおりさんが よみせを ( )。

いしい：そうですか。

19

てんきが いいから  
さんぽを しましよう

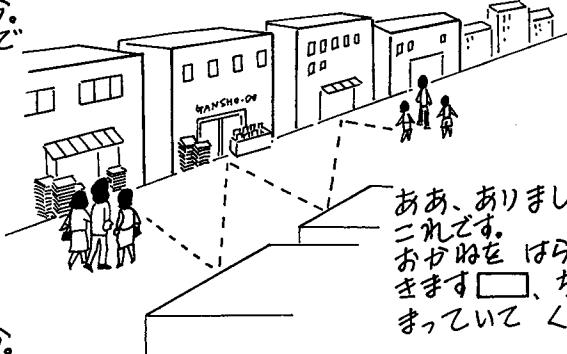


ごめんなさい、おそらくなってしまって。  
もう 20  すぎよ。  
やまださんがまっているから  
いそぎましよう。

あら、ほんとう？ やまださんがまつ  
いるんですか。  
ええ。このほん○がえさなくては  
ならない□としょかんのまえ○  
あうんです。

あら、ほんはなかったのですか。  
ええ。このみせにはないので  
ほかへいってさがします。

ああ、つかれた。  
どうしてないのぞしそうか。  
あるいはほんだん□です。  
どうぞすか。  
つかれたので、もうほんを  
さがすのはやめます。  
せっかくきたのだ□  
もうすこしさがしてみませんか。



ああ、ありました。  
これです。  
おわねをはらって  
きます□、ちょっと  
まつていてください。

わあ、きれい。  
すっかりはるかに□ましたね。

ええ。  
あんなにさくらがちって。  
まるで□が並んでいる  
ようですね。



すわりませんか。  
ええ。  
すいぶんおろいた□つかれました。  
ええ、わたくしも。  
あるきすぎてあしがぼうの□です。  
いやあ、どうもすみません。  
きょうはいろいろありがとうございます。

	～から	～ので	～て、
書く	書く	書く	書い
書かない	書かない	( )	書かなく
書いた	( )	書いた	_____
書かなかつた	書かなかつた	書かなかつた	_____
書くのだ	書くのだ	_____	_____
書いている	( )	書いている	書いてい
はる 春らしい	春らしい	( )	はる 春らしく
はる 春の ようだ	( )	はる 春の ような	_____
おいしい	( )	おいしい	おいしく
おいしく ない	おいしく ない	( )	おいしく なく
おいしかった	おいしかった	おいしかった	_____
おいしくなかつた	( )	おいしくなかつた	_____
はる 春だ (しづかだ)	春だ (しづかだ)	はる 春な (しづかな)	はる 春で (しづかで)
はる 春ではない	( )	はる 春ではない	はる 春でなく
はる 春だった	春だった	( )	_____
はる 春では なかつた	春では なかつた	はる 春では なかつた	_____

「～から、～」「～ので、～」「～て、～」

1. やまださんが 待って いるから、いそぎましょ。
2. この 本を かえして くるから、まっていてください。
3. この みせには ないので、ほかへ 行って さがします。
4. わたしが おくれたので、おそくなりました。
5. 歩きすぎて、足が ぼうの ようです。

① 「～から」を 使って 書きなさい。

れい：きょうは あいつです。だから、およぎに 行きましょう。

→ きょうは あついですから、およぎに 行きましょう。

1. ともだちが 待って います。だから、早く 行きましょう。

→

2. テレビは、おもしろく ありません。だから、きらいです。

→

3. きっぷを 買ってきます。だから、ちょっと 待って いて ください。

→

4. 待ちあわせの 時間は 1時です。だから、もうすぐ 来るでしょう。

→

② 「～ので」を 使って 書きなさい。（「ので」の 前は 「ふつう体」）

れい：車が、こしょうしました。それで、おそらく なりました。

→ 車が こしょうしたので、おそらく なりました。

1. たくさん かいものを しました。それで、お金が なく なりました。

→

2.わたしの へやは まどが 大きいです。それで、たいへん あかるいです。

→

3. きのう、おさけを たくさん のみました。それで、あたまが いたいです。

→

4. 待ちあわせの 時間は、2時でした。それで、うちを 1時に 出ました。

→

5. びょうきです。それで、学校を 休みます。

③ 「～からです」を つかって こたえなさい。

れい：どうして 順子さんと 正子さんは、おそくなりましたか。（正子、おくれた）→ 正子さんが おくれたからです。

1. どうして 三人は さんぽを しましたか。（天気、いい）

→

2. どうして 三人は かんだへ 行きましたか。（山田さん、がしゅう、買いたい）

→

3. どうして 三人は つかれましたか。（ずいぶん 歩いた）

→

④ 「～んですか」を つかって、Bの しつもん文を つくりなさい。

れい：A： 山田さんが 待って います。

B： どこで 待って いるんですか。

A： としょかんの 前です。

1. A： 日本画の がしゅうを 買いました。

B： \_\_\_\_\_。

A： かんだです。

2. A： お金を はらって きました。

B： \_\_\_\_\_。

A： 600円です。

3. A： ほかの みせへ 行って さがします。

B： \_\_\_\_\_。

A： この みせには ないからです。

⑤

れい：ようじがあります。→ ようじがある。

1. しけんがあります。→
2. ねつがありました。→
3. でんわがありました。→
4. <sup>ちから</sup>力がありません。→
5. じかんがありませんでした。→
6. ふろがありません。→
7. りんごがありませんでした。→
8. うちのにわにさくらがあります。→

⑥

れい：じかんがなかったので、タクシーで行きました。

1. \_\_\_\_\_ので、シャワーをあびます。
2. \_\_\_\_\_から、おもいものは持てません。
3. \_\_\_\_\_ので、オレンジを買いました。
4. \_\_\_\_\_から、勉強してください。
5. \_\_\_\_\_から、日曜日に学校へ来てください。
6. \_\_\_\_\_から、四月にはなみのパーティーをしましょう。
7. \_\_\_\_\_ので、さくらの花がみんなちってしました。
8. \_\_\_\_\_ので、でんぱうをうちます。

7

れい：やきゅうが すきです。

する→ やきゅうを するのが すきです。

見る→

1. さかなが すきです。

食べる→

つる→

れい：うまを 見ました。

走る→ うまが 走るのを 見ました。

くさを 食べて いる→

1. こどもが 見えます。

あそんで いる→

じてんしゃに のって いる→

2. 日本語は やさしい。

ならう→

話す→

3. かんじは おもしろい。

読む→

書く→

れい：ほんを さがす、やめる

→ ほんを さがすのを やめます。

1. がしゅうを 見る、すき

→

2. さくらが ちる、うつくしい

→

3. ほんを さがす、つかれた

→

8

**れい**：さっき、あき子さんは、コーヒーカップを わって しました。

→ さっきは、コーヒーカップを わって しまって

ごめんなさい。

1. きのう、<sup>やまだ</sup>山田さんは、やくそくの 時間に おくれて しました。

→ \_\_\_\_\_ は、\_\_\_\_\_ て

すみませんでした。

2. きょうは、じゅぎょうに おくれたり、宿題を するのを 忘れたり しました。

→ \_\_\_\_\_ は、\_\_\_\_\_ て

もうしわけありませんでした。

3. まさこさんは、<sup>ほん</sup>本を わすれて しました。

ごめんなさい、\_\_\_\_\_ て。

4. まさこさんは、<sup>ほん</sup>本を よごしました。

ごめんなさい、\_\_\_\_\_ て。

9

**れい**：むずかしい、わからない、教えて ください。

→ むずかしくて、わからないから、教えてください。

1. くらい、よく 見えない、でんきを つけて ください。

2. <sup>たか</sup>高い、買えない、きょうは 買うのを やめます

3. びょうき、<sup>がっこう</sup>学校を 休む、おしらせします

10 ビデオを みて つづきを 書きなさい。

また、つづきを じゅうに 書んがえて かきなさい。

1. きょうは、お天気が いいから

→

→

2. じゃあ、ぼくは、ここで、待っていますから

→

→

3. せっかく 来たのだから

→

→

4. さあ、本は 買ったから

→

→

5. 学校が はじまつたので

→

→

6. この みせには ないので

→

→

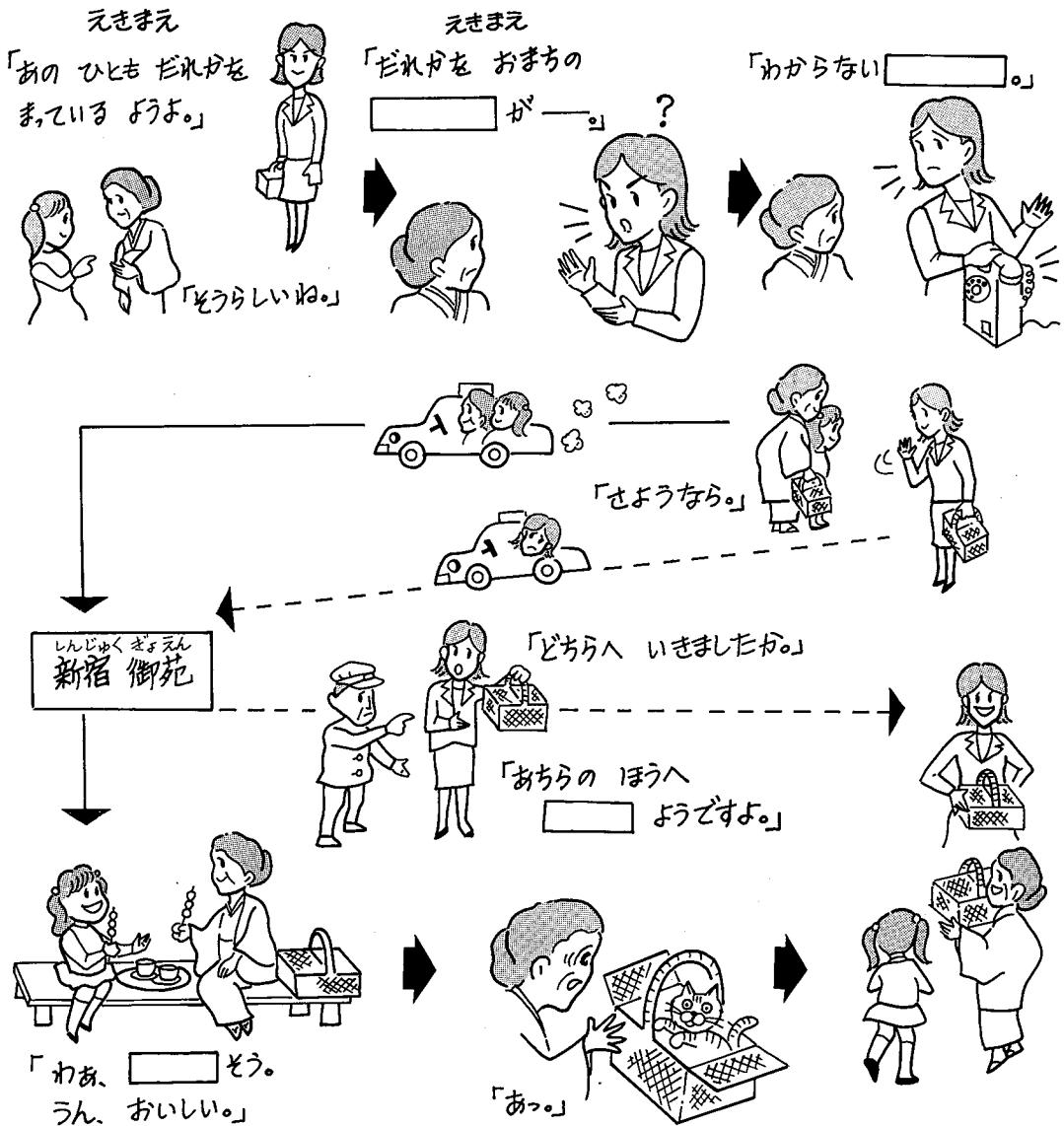
7. ずいぶん 歩いたので

→

→

# 20

## さくらが きれいだそうです



	～そうだ	～そうだ	～らしい	～ようだ
どうし 動詞	ふる ふらない ふった ふらなかつた  ～そうだ	ふりそうだ ふりそうも <u>ない</u>	ふる  ふった ふらなかつた  ～らしい	    ～ようだ
けいようし 形容詞	さむい さむくない  さむく なかつた  ～そうだ	さむ    ～そうだ	 さむく <u>ない</u> さむかつた さむく なかつた  ～らしい	さむい さむく <u>ない</u> さむかつた   ～ようだ
けいようどうし 形容動詞	げんきだ げんきでは  げんき げんきでは  げんき げんきでは  ～そうだ	げんき げんきでは   ～そうだ	 げんきでは  げんきでは  ～らしい	げんき げんきでは   ～ようだ
めいし 名詞	せんせい 先生だ   せんせい 先生だつた   ～そうだ	先生 <u>の</u> ようだ  先生では  なさそうだ	先生 先生ではない   ～らしい	先生の 先生では   ～ようだ

① **れい** : 帰る → 帰る そうだ → 帰る らしい → 帰る ようだ

1. 帰らない →
2. 帰った →
3. 帰らなかった →
4. 暑い →
5. 暑くない →
6. 暑かった →
7. 暑く なかった →
8. きれいだ →
9. きれいでは ない →
10. きれいでは なかった →
11. 病気だ →
12. 病気では ない →
13. 病気だった →
14. 病気だった →

② **れい** : 高い → (高い) そうです) / (高い) そうです)

1. 読める → ( ) ( )
2. 来ない → ( ) ( ) ※
3. 大きくない → ( ) ( )
4. べんりだ → ( ) ( )
5. しづかでは ない → ( ) ( )
6. 金持ちだ → ( ) ( ) ※
7. 雨が やまない → ( ) ( ) ※

※は ちゅういする

- ③ **れい**：(やまださんが、じぶんの うちに 電話をかけて、あねと 話す。)  
やまだ 「夜、10時ごろ、うちに 帰ります。」

母 「なん時ごろ、帰るのですか。」  
姉 「夜、10時ごろ、帰る そうです。」  
やまだ 「夜、10時ごろ、うちに 帰ります。」  
「いま、よこはまに います。」  
「しんじゅくで カメラを 買いました。」  
「友だちの なかがわさんが うちへ 来ます。」  
「あさって、きょうとへ 行きます。」  
母 「なん時ごろ————」 姉 「————」  
「どこに————」 「————」  
「なにを————」 「————」  
「だれが————」 「————」  
「どこへ————」 「————」  
「いつ————」 「————」

- ④ **れい**：A 「どこへ 行くんですか。」  
B 「しんじゅくぎょえんへ 行くんです。」  
A 「ああ、さくらが きれいだ そうですね。」  
B 「そうらしいですね。」

1. A:なにを 買う B:ニコンの カメラ C:いいカメラです
2. なにを 見る かぶき おもしろいです
3. いつ きょうとへ 行く 8月 暑いです
4. なんで 行く しんかんせん はやいです
5. どなたに 会う スミスさん 日本語が じょうずです
6. どなたと 行く やまだ先生 けっこんしました

⑤ **れい**：「外は 寒そうだ。」→ (外へ出て) 「やっぱり、寒い。」

1. この レストラン、高い→ (メニューを 見て) 「」
2. この りょうり、おいしい→ (りょうりを 食べて) 「」
3. いえの 中、あたたかい→ (いえの 中に 入って) 「」
4. きょうの おふろ、あつい→ (おふろに 入って) 「」

⑥ **れい**： 雨がふる → (空を 見ながら) 「雨が ふりそうだ。」

1. 本が つくえから 落ちる →
2. ボタンが とれる →
3. 電気が きえる →
4. こどもが なく →
5. きんぎょが 死ぬ →

⑦ **れい**：「でんわばんごうを 忘れそ うだから、紙に かいて おこう。」

1. 今夜は 友だちが 遊びに くる 早く 帰る
2. この レストランは 高い ほかの ところへ 行く
3. ねられなく なる コーヒーを のむのを やめる
4. 気持ちが わるく なる あまり たくさん のまない
5. いま、たなかさんは いそがしい もうすこし、あとで 行く
6. かぜを ひく こんやは 早くねる

メ

モ

8 **れい** : A 「日本の 大学の 入学しけんは むずかしいでしょうか。」

B 「ええ、むずかしいらしいです。」

※B 「いいえ、むずかしく ないらしいです。」

1. A 「あの えいがは おもしろいでしょうか。」 B 「ええ、——」

2. 「きのう おおさかは あつかったでしょうか。」 「ええ、——」

3. 「しゃちゅうは アメリカへ 行くんでしょうか。」 「ええ、——」

4. 「やまださんは、この本を <sup>ほん</sup>読んだでしょうか。」 「ええ、——」

5. 「おおきさんは びょうきでしょうか。」 「ええ、——」

6. 「りーさんは いい <sup>がくせい</sup>学生でしょうか。」 「いいえ、——」

7. 「きのうの テストは むずかしかったでしょうか。」 「いいえ、——」

8. 「先生は <sup>せんせい</sup>元気でしょうか。」 「いいえ、——」

9. 「あの <sup>ひと</sup>人は くすりを のんだでしょうか。」 「いいえ、——」

10. 「あの <sup>ひと</sup>人は <sup>わか</sup>若い とき、先生だったんでしょうか。」 「いいえ、——」

9 **れい** : ① <sup>わか</sup> <sup>めの</sup>若い 女の <sup>ひと</sup>人も 同じ <sup>おな</sup>かごを もっていた。

② おばあさんは <sup>かご</sup>に ねこを いれなかつた。

→ どうやら あの <sup>ひと</sup>の <sup>かご</sup>と まちがえたらしい。

1. ① でんわばんごうを <sup>かみ</sup>書いた <sup>かみ</sup>紙を たしかに 入れた。

② いまは ない。→

2. ① <sup>でんしゃ</sup>に のったとき <sup>も</sup>かさを 持っていた。

② いまは 持っていない。→

3. ① バスの <sup>で</sup>出る 時間に 3分 <sup>ぶん</sup> おくれて しまつた。

② ていりゅうじょに だれも いない。→

4. ① ベルを <sup>で</sup>おしたが だれも 出て こない。

② いえの <sup>なか</sup>中は しづかだ。→

⑩ **れい** : A 「もしもし、すみませんが、今、何時でしょうか。」

B 「11時半ですよ。」

A 「だれかを おまちの ようですが——。」

B 「ええ、しりあいを 待っているんです。」

1. A : けいさつは どこ 2. A : びょういんは どこ 3. A : 駅は どこ

B : あそこ

B : あちら

B : むこう

A : なにか おこまり

A : ごびょうき

A : おつかれ

B : お金 をなくして

B : おなかが いたい

B : 1時間

しまった。

ある 歩いた

⑪ **れい** : A 「どちらへ 行きましたか。」

B 「あちらの 方へ 行った ようです。」

1. 「何時に バスが 通りましたか。」

「20分ぐらい 前に 。」

2. 「その 人は 何を 買いましたか。」

「時計を 。」

3. 「おばあさんは どこに いますか。」

「二階の しんしつに 。」

4. 「おとうとさんは 何を していますか。」

「じぶんの へやで 音楽を 。」

5. 「やまださんは だれと 会いましたか。」

「しゃちゅうと 。」

⑫ **れい** : ここに 入れた。→ たしかに ここに 入れた はずなんですが。

1. 11時に 来る。→

2. きのう 買った。→

3. 手帳に 書いてある。→

4. ここに おいた。→

13 ビデオを 見て [ ] に ことばを 入れて ください。

1. 女の子 「おばあちゃん、あの人も だれかを [ ] [ ] よ。」  
おばあさん 「そう [ ] ね。」

2. おばあさん 「すみませんが、いま [ ] か。」

女人 「11時半ですよ。だれかを [ ] が。」

おばあさん 「しりあいを 待って いるんです。11時に くる [ ]  
なんですが。」

女人 「もう、30分も すぎていますね。でんわを してみたほうが  
いいですよ。」

おばあさん 「でんわばんごうを 書いた 紙を [ ] ここに 入れ  
たなんですがね。」

おとした [ ]。」

3. 女の人 「名まえは さとうはな。じゅうしょは せたがやだ [ ]  
[ ]。」

「その 人の ごしゅじんか むすこさんの 名まえは？」

おばあさん 「それが……。わからないんです。」

女人 「[ ]。」

4. 女の人 「おじょうさん。どこへ 行くんですか。」

女子 「しんじゅくぎょえんです。」

女人 「ああ、いま、さくらが [ ] ね。」

おばあさん 「[ ] ね。」

5. 女の子 「わあ [ ]。うん、おいしい。」

おばあさん 「あっ [ ] だから、きを つけて——。」

## 『日本語教育映画 基礎編』 作成関係者

(指導・助言) 日本語教育映画等企画協議会委員 (所属は在任当時のもの)

池尾スミ (米加十一大学連合日本研究センター)

石田敏子 (国際基督教大学)

今田滋子 (国際基督教大学)

木村宗男 (日本語教育学会)

工藤浩 (国立国語研究所)

窪田富男 (東京外国語大学)

斎藤修一 (慶應義塾大学国際センター)

佐久間勝彦 (東京外国語大学)

杉戸清樹 (国立国語研究所)

(企画) 国立国語研究所日本語教育センター関係者 (在任当時関係者も含む)

野元菊雄 南不二男 川瀬生郎 日向茂男 田中 望

清田潤 中道真木男 林大 武田祈 水谷修

(制作) 日本シネセル株式会社

この『練習帳』の企画・校閲・編集は国立国語研究所日本語教育センター日本語教育指導普及部教材開発室の日向茂男、清田潤が担当した。全巻に渡っての企画・校閲には中野泰子 (アジア学生文化協会留学生日本語コース)、野村美知子 (アジア学生文化協会留学生日本語コース) の両氏に多大な協力を得た。また印道縁、清地恵美子、戸川さやかの各氏に企画時の補助をお願いした。

このユニット4の原案執筆・検討には中野泰子、二瓶千恵、伊豆山敦子、野村美知子、島村公子、播磨温子、ダバロス田中都紀代の各氏に助力を仰いだ。

### 『日本語教育映画 基礎編』 練習帳

1984年 11月 15日 発行

企画・編集 国立国語研究所

・発行 〒115 東京都北区西が丘3~9~14 電話(03)900-3111

印 刷 日本シネセル株式会社

〒107 東京都港区赤坂1~9~15 電話(03)582-2691~4